

日本におけるノカルジア症の臨床的疫学と感受性に関する後方視点的研究

1. 研究の対象

当院で 2010 年以降にノカルジア症疑いで千葉大学真菌医学研究センターに検体を送付しノカルジア症と診断された 18 歳以上の方。

2. 研究目的・方法

目的：

- 1、日本の施設で診断されたノカルジア症の患者の臨床的特徴、治療、および転帰を記述すること。
- 2、日本におけるノカルジア症の感受性を記述する。

方法：ノカルジア症と診断された時の症状、検査、治療、予後、対象症例の基礎疾患について後方視点的にレビューを行い、さらに検出された菌の感受性も併せて、死亡率に関するリスクファクター解析を行う。

研究期間：2017 年 8 月 7 日～2022 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、併存疾患、病歴、治療歴、副作用等の発生状況 等

試料：ノカルジアが同定された検体

4. 外部への試料・情報の提供

対象患者さんのカルテから情報を得て、所定のデータコレクションフォームに記載し、本研究の共同研究施設である多摩総合医療センター感染症科に送付します。データの提供は個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できるような個人情報を含みません。

5. 研究組織

共同研究機関

千葉大学真菌医学研究センター 矢口貴志、渡邊哲

東京都立多摩総合医療センター 本田仁、田頭保彰、高松茜

その他、研究協力機関：全国 200 以上の病院（予定）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：済生会熊本病院 呼吸器内科 飯尾 美和

研究代表者：多摩総合医療センター 感染症科 本田 仁

以上